

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	パピブ・チャイルド堺		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 15日		～ 2025年 8月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 7月 15日		～ 2025年 8月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援計画に沿った指導案を毎時プログラムで考え活動し、個の成長に合った過程を見直す機会を設けています。	毎日、ミーティングを行い、児童の様子や家庭背景などを考慮しながら個別で対応できるように考慮している。又定期的に会議を行い、支援計画書の見直しや改善を行っている。	会社グループ間で事業所共有を行い、職員の研鑽に努めています。
2	・3か月に1度の引継ぎシートを記入しています。 ・送迎の際に子どもの様子を園と共有し、その職員との信頼関係に努めている。	サービス担当者会議への参加は、児童発達支援管理責任者及び、こどもの担当者も参加を行っています。	事業所で個別支援計画作成までの手順やアセスメントへの強化を図る研鑽を行っています。
3	SNSやICTを活用し、活動内容を発信しています。行事予定なども配信を行い共有しています。	事業所の保護者様にもみ共有できる利用者写真を配信し、親子の会話や様子をお伝えし、好評をいただいています。	SNSでも事業所の配信をさらに行い、療育について発信できるように取り組んでまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育を行う場がワンフロアなため、個別療育の際に困ることがある。	テーマは同じでも年齢、理解度によって異なる療育を行う場合、集中できるように工夫すること。	子ども達の着席の位置を壁際に沿って並べたり、視覚的配慮をするために仕切りを使って集中できるようにしています。
2	子どもが怪我をする可能性がある設備が少しある。	書庫や、言語訓練を行っているスペースのパーテーションの安定が良くないため子供が当たった場合に怪我する恐れがある。	書庫や、言語訓練を行っているスペースのパーテーションの安定が良くないため子供が当たった場合に怪我する恐れがある。
3	夏の送迎車内の温度が上昇します。	エアコンの冷房が後部座席まで届かない車両がある。	予め、事前にエンジンをかけ車内を涼しく保たせておく。 窓には日除けカバーなどを設置してチャイルドシートには冷却シートを用意しています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 バビブ・チャイルド堺

公表日 2025年 9月 15日

利用児童

数 25

回収数 22

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2		1	・子どもが落ち着いて過ごせるスペースが確保されていて安心していきます ・実際に子どもが活動している時を見ていないのでわからない	療育内容によってスペースを使い分け、子ども達が伸び伸びと活動できるように配慮をしています。 ・活動内容をわかりやすくする為に写真等の工夫や、保護者伝達時に伝え方を具体的にしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1		5		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると	18			4	・段差がない ・引き出しの顔写真は大きくてわかりやすいですね	・構造上複雑にはなっていないので、引き続き分かりやすく環境整備を行っていきたく考えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20			2	・連絡ノートで、いつも「○○が目的」と書いてくれていて、目的がわかりやすいです ・本人のペースに合わせてくださっていると思います ・子どもに合わせた支援を受けられていると実感します	・目的やねらいはいつも明確にしていますが、今後も各自に合わせた療育を目指していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20			2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20			2	・母親のケアもありがとうございます	・子供たちがよりよく成長していくためには同時に保護者様のサポートも必要だと考えています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22				・少しずつ言葉が増えてきています ・それ以上によく支援してくださっていると思います	・各自の支援内容には全職員が関わって改善策を提案してきます。引き続き、支援向上に努めたいと考えます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21			1	・毎日違ったことをされていて、すごいと思います ・活動に柔軟性があり、子どもの状態に応じた調整がされていると思います	・活動プログラムについては、5領域の観点を踏まえて全体的に行き渡るようなカリキュラムを考えていきたいと考えています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	1	10	・幼稚園で集団生活を体験できており、良い刺激になったと感じます	・こども園、幼稚園には年に1、2回の目安で相談・交流させていただく機会を設けています。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22						
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1		1	・支援内容に納得がいく説明が受けられています	・6ヶ月に1回のモニタリングや個別面談を実施しています。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	1		1	・これから毎月の面談、よろしくお願ひします	・育児に不安を抱えたり、悩みをお持ちの保護者様には数回の面談を実施しています。	

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22				・これから毎月の面談、よろしくお願ひします連絡のーたや送迎時の会話で子どもの様子を共有してもらえてありがたいです	・送迎時に子どもの様子をお伝えしたり、療育のねらいについての話を直接保護者様に伝達する。 ・育児に不安を抱えたり、悩みをお持ちの保護者様には数回の面談を実施。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21			1	・色々相談させていただき、ありがとうございます	・子育ての不安には養育者様の心と体の安定が必要だと考えます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1			・いつも温かく関わっていただき、感謝しています	・今後も丁寧な対応と信頼関係に努めたいと考えます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	1	1	6	・他の保護者方々とも気軽にお話できたらいいと思います	・年間の行事で交流できる機会が善処したいと考えます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18			4		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1		1	・最近連絡ノートを活用し始めました	・活用していただきながら毎日の信頼関係に努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19			3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			8	・そのあたり、どのようにされているかまた教えてください	・BCP（事業継続計画）に沿って災害時の訓練や、避難方法、ハザードマップ、緊急連絡対策、職員の研修などを行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			2	・体調不良の際もすぐに対応していただけて、緊急時の連絡や対応がしっかりしていて信頼しています	・当事業所エリアで対応していただける医療関係の確保と確認を行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	1		1	・楽しんで通所しています。いつもありがとうございます	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	2	1	1	・毎日とても楽しみにしています ・週2がしんどいみたいです ・同い年のお友達がいなくて楽しみというわけではないようです	・SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通して色々な子どもたちと触れ合いながら、心と体の成長を図り、就学後に体験するであろう社会性などを身につけていく取組みを行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21			1	・本人のペースを大切にいただき、家庭では見られない成長もあり感謝しています ・子供の成長をすごく感じ、大変満足しています。本当にありがとうございます。	・療育の取り組みの中で保護者様の色々な意見を聞きながら、改善、向上に努めたいと考えています。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	バビブ・チャイルド堺				公表日	2025年 9月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	・職員が不足だと思うときがある ・子どもたちの安全を守るよう配置をお願いします	・職員の体制が万全でないと考えられる時は、他事業所からのヘルプ要請をしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		別室やパーテーションがある為、空間を分けて取り組め集中して行える	・子供たちの感覚優位を考慮し、視覚を遮ったり、音に配慮する工夫を行っている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		良かった点、改善点など、その都度振り返りができている	・毎日の取り組みについては朝礼で各自振り返りを行って改善点を出しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	評価長に限らず、保護者からの意向や提案等は面談にて行う	・保護者様からのご意見はできるだけ早急に対処できるように努めていますが、必要であれば個別面談でじっくり話を聞く体制を取っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		若手の意見もしっかりと受け入れてくれる環境である	・若い職員が各自の能力開発に集中しけるような環境作りに努めています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		他事業所で研修ができ、良い経験となった	・職員同士がお互いに刺激し合えるような関係と環境の整備を行っていきたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員全体で子どもたちを真ん中において、姿や成長を共有できている	・気になる子どものも行動など、つぶさに観察していくためにも朝礼で周知していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		細かく記録、その都度共有ができています	・子ども達の様子を記録する連絡帳、活動内容がわかるレク案や、個別支援計画書など多角的な方法で記録を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	園での姿を担当の先生に聞く	・どの機関に対しての信頼関係は大切だと考えます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	送迎の際に、園の先生と子どもの情報は共有している	・子どもの様子を確認するためにも出来るだけ、具体的に情報交換ができるように信頼関係を深めていけるよう努力をしています。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		お帳面はその日頑張ったこと、気づいたことを姿が目に浮かぶように丁寧に伝えている	・連絡帳にはその日の出来事や様子、また、保護者様に伝えたいことを書いています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		・年に1, 2回程度の行事の中で行っている ・イベントの2回で交流する機会、場面があったらいいと思う	・年行事の中で内容によっては保護者会などを含む交流会も考慮しています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	現在必要性を感じません	